

# 和歌山租推協だより

平成 31 年 3 月 発行 ～第 103 号～

《発行》

和歌山市租税教育推進協議会  
(事務局)

和歌山税務署 総務課内

☎073 (424) 2132

## ～ はじめに ～

関係各位におかれましては、平素から当協議会の運営、とりわけ児童・生徒に対する租税教育の推進につきまして、深いご理解と多大なるご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

租税教室につきましては、平成 23 年度税制改正大綱において、「租税教育の充実」が閣議決定されたことを受け、文部科学省、総務省、国税庁の 3 省庁が租税教育の推進及び租税教育の充実のため環境整備を図ることを目的に租税教育推進関係省庁等協議会（中央租推協）を発足しました。平成 30 年 11 月 15 日には、第 10 回中央租推協総会が開催され、各省庁等における租税教育の取組状況の報告等が行われております。

和歌山市租税教育推進協議会におきましては、和歌山市内の国・県・市の税務及び教育関係者並びに関係協力団体が連携・協調し、和歌山市内の児童・生徒に対して、教育現場を通じて租税教育の充実を図るために、租税教室の開催の働きかけや中学生・高校生の税に関する作文募集・表彰など、租税教育推進のための各種事業活動に取り組んでおります。

どうか、皆様方におかれましては、それぞれの立場で、租税教育の更なる推進にご尽力賜りますようお願い申し上げます。

なお、本号では、平成 30 年度の中学生・高校生の税に関する作文の表彰結果を紹介させていただきます。

和歌山市租税教育推進協議会  
会長 中村 文昭  
(和歌山税務署長)



平成 30 年 11 月 15 日「税に関する高校生の作文」表彰式  
和歌山税務署 会議室

## ～ 税に関する作文の表彰 ～

平成 30 年度は、和歌山市内の中学校から 3,793 編(24 校)、高等学校から 2,372 編(12 校)のご応募をいただき、厳正な審査の結果、次の皆さんが受賞されました。おめでとうございます。  
なお、受賞者の皆さんには、表彰状及び記念品が贈られました。

### 中学生の「税についての作文」受賞者

★国税庁長官賞

築野 有 登 (智辯学園和歌山中学校 3 年)

★大阪国税局長賞

谷 広 翔 (和歌山市立楠見中学校 3 年)

★近畿納税貯蓄組合総連合会長賞

玉井 真菜穂 (和歌山県立桐蔭中学校 2 年)

★和歌山県租税教育推進連絡協議会賞

濱本 名那子 (和歌山市立西浜中学校 3 年)

★和歌山県納税貯蓄組合総連合会長賞

土山 杏 奈 (智辯学園和歌山中学校 3 年)  
中澤 沙 月 (近畿大学附属和歌山中学校 1 年)  
牧 蒼 樹 (智辯学園和歌山中学校 3 年)

★和歌山税務署長賞

川端 千彩咲 (和歌山市立東和中学校 3 年)  
壺井 隆 稜 (開智中学校 3 年)

★和歌山県知事賞

若野 優 (和歌山信愛中学校 2 年)

★和歌山県税事務所長賞

坂本 葵 (近畿大学附属和歌山中学校 2 年)

★和歌山市長賞

小原 大輝 (和歌山市立西浜中学校 3 年)

★和歌山市教育委員会教育長賞

和田 ともか (和歌山県立桐蔭中学校 2 年)

★和歌山市租税教育推進協議会会長賞

平松 海 希 (和歌山信愛中学校 3 年)  
三木 清 香 (和歌山県立向陽中学校 3 年)

★和歌山納税協会会長賞

村田 尚 駿 (和歌山市立貴志中学校 2 年)

★大桑教育文化振興財団理事長賞

岡原 凜 佳 (和歌山市立河北中学校 1 年)  
川原 未 宙 (和歌山市立日進中学校 3 年)  
中村 春 那 (和歌山市立西和中学校 1 年)

(敬称略・同一賞内は氏名 50 音順)



谷 広翔さん  
(和歌山市立楠見中学校 3 年)



玉井 真菜穂さん  
(和歌山県立桐蔭中学校 2 年)

平成 30 年 11 月 14 日 納税表彰式における「中学生の税についての作文」朗読  
ホテルグランヴィア和歌山

## 「税に関する高校生の作文」受賞者

### ★納税協会連合会会長賞

高岡 穂歌 (和歌山県立向陽高等学校 1年)

### ★和歌山県知事賞

伊藤 さやか (和歌山県立和歌山北高等学校 1年)

### ★和歌山県租税教育推進連絡協議会賞

小南 千紘 (和歌山県立向陽高等学校 1年)

### ★和歌山納税協会会長賞

北地 未来 (和歌山市立和歌山高等学校 1年)

駒木 華乃 (和歌山県立星林高等学校 1年)

土橋 小乃花 (和歌山県立桐蔭高等学校 1年)

吉田 彩花 (和歌山県立和歌山東高等学校 1年)

吉田 愛望 (和歌山県立和歌山北高等学校 1年)

### ★和歌山税務署長賞

加納 愛弓 (和歌山信愛高等学校 1年)

瀬藤 愛乃 (智辯学園和歌山高等学校 1年)

西脇 彩乃 (和歌山信愛高等学校 1年)

橋本 涼音 (和歌山県立向陽高等学校 1年)

山根 淳平 (和歌山県立和歌山商業高等学校 3年)

### ★近畿税理士会和歌山支部長賞

西岡 直美 (和歌山県立桐蔭高等学校 1年)

松本 茉莉 (和歌山信愛高等学校 1年)

### ★和歌山市租税教育推進協議会会長賞

池辺 美結 (和歌山信愛高等学校 1年)

加藤 夏葉 (和歌山県立向陽高等学校 1年)

亀井 真央 (和歌山県立向陽高等学校 1年)

久保 紀登 (智辯学園和歌山高等学校 1年)

峪 紳大朗 (和歌山県立桐蔭高等学校 1年)

(敬称略・同一賞内は氏名 50 音順)



高岡 穂歌さん

(和歌山県立向陽高等学校 1年)



小南 千紘さん

(和歌山県立向陽高等学校 1年)

## 租税教育関係表彰

国税局では、租税教育の推進及び租税教育推進のための基盤整備等について、特に功績のあった学校等に「租税教育推進校等」として表彰を行っております。

平成 30 年度は、次の学校に対して、感謝状が贈呈されました。

### ★大阪国税局長感謝状

「和歌山市立 西浜中学校」

### ★和歌山税務署長感謝状

「和歌山市立 東中学校」

## ～ 受賞作品の紹介 ～

### 納税協会連合会会長賞

#### 「支える税金と支えられる税金」

和歌山県立向陽高等学校 1年 高岡 穂歌

今年の夏、凄まじい豪雨による河川の氾濫や洪水、土砂災害をもたらした西日本豪雨。私も、連日放送される被害の状況を見る度に胸が苦しくなった。「自分に何かできることは無いか」と思いつつも、「やっぱり、私がたった一人でできることなんてないな」と思っていた。

確かに、たった一人でできることなんてほんの小さなことだろう。でも何人かが集まればどうだろうか。それは大きな力になるということの一つの税金が私に伝えてくれた。それは東日本大震災の復興のための「復興特別所得税」というものだ。課税が決まって以来、日本国民の納税により公共施設、仮設住宅の建設、道路の整備など、多くの面で役立てられ、復興に貢献している。

つまり、「私ができることなんてない」という考えは間違っているのだ。たとえ遠く離れた被災地であったとしても、税金を通して支援することができる。私は、これを「支える税金」だと思う。

では、「支えられる税金」とはなんだろうか。

この春、高校入学を迎えて、母は「教科書代」と書かれた封筒を私に渡した。その中には、私のお小遣いの何倍ものお金が入っていて、どこか義務教育の終了を告げられたようだった。他にも、私の住んでいる市では、高校生になるまでの医療費が全額負担されている。小さい頃から喘息を持っていたので、病院に通うことが多かった。今、こうして元気に生活できているのも、適切な診断、治療、薬の処方のお陰である。高校生という肩書きだけでなく、今までの教科書や医療を税金が支援してくれていたことに気付けたことは、自分の成長だった。なぜなら、もしその成長がなければ、税金のことをよく知りもしないのに、「税金を払うの嫌だな」と軽々しく口に出していたかもしれないからだ。

このように、税金が担う役割が大きいにも関わらず、税金に対する批判的な意見を述べる人や、滞納している人もいるという悲しい事実がある。その中には、「自分が支援している」という考えばかりを持ってしまっている人もいるだろう。確かに、「支える税金」の側面から見るとその意見は正しい。しかし、これまで歩いて来た道をもう一度振り返ってみてはどうだろうか。きっと、税金が与えてくれた恩恵は計り知れないはずだ。このように、税金を正しく理解すると、考え方も変わるだろう。

今、こうして西日本の人々が被害に苦しんでいる時こそ、税金の「支え、支えられる力」の良さを発揮すべきだ。批判的な意見を、「一緒に頑張ろう」とか「支え合おう」という意見には変えられないのだろうか。なぜなら、私達は一人で生きている訳ではない。今まで、税金に支えられてこなかった人なんて、きっと一人もいない。

## ～ 受賞作品の紹介 ～

### 和歌山県租税教育推進連絡協議会賞

#### 「税を理解することのメリット」

和歌山県立向陽高等学校 1年 小南 千紘

「税金高いし、払いたくないなあ。」

こんな声を耳にしたことが何度かある。私も深く考えることなく、税なんていらんじゃないか、と思っていた。だから、税の作文が宿題だと言われたときは、正直戸惑った。税というものに、良いイメージを持っていなかったからである。そこで私は、税について、ネットや本を使いながら一から調べ直した。すると、とんだ思い違いだったことが分かった。考え直してみると、いくつか税に助けられたんじゃないかと思ひ当たることもあり、その中でも一つ強く思うものがあった。

それは、二年前の夏。私が肺炎で入院したときのことだ。幸い、病院で適切な治療を受けた私は、みるみる体調が良くなり、一週間で退院することができた。しかし、そのとき私は、ふと、こう思ったのだ。病院といえば、部屋を借りるにもお金がかかると聞いたことがある。ましてや、レントゲンや点滴なども受けたので、とてもお金がかかっているだろう。三万円？五万円？それ以上？初めての入院だった私には、想像すらできなかった。そこで、母に、恐る恐る聞いてみたところ、考えもしなかった答えが返ってきたのだ。

「それがね、本当に安くてびっくりしたんよ。なんなら家にいるより安いくらい。」と。そのとき、退院したばかりで余裕がなかった私は、なぜ安いのかなど考えもしなかった。今聞けば、やはり税のおかげだと言う。

私は、税をただ一方的に取られているのだと思ひ込んでいた。だから、払いたくないと思うこともあった。しかし、それは大きな間違いであり、税は形を変え、私たちの元に返ってきていたことを知った。例えば、小中学校の教科書や道路の舗装、ゴミの収集、国民医療費の公費負担、そして年間教育費。実は税には、言い出したらキリがないほどたくさん助けられていたのだ。

私は、これまで税が何に使われているのかを知らないまま過ごしてきた。だから、消費税を取られることに不満を感じることも多々あった。しかし、使い道を知った今では、不満など一切感じず、むしろ社会に貢献できていることに喜びを感じ、清々しい気持ちで納税している。この気持ちをいつまでも忘れずにいたい。

税の使い道を知り、全員が気持ちよく納税している。そんな社会を、次世代を担っている私たちが、作らなくてはならないのだろう。

税の作文を書くことによって、自分も社会を担っている重要な存在であることを再認識したと同時に、税に肯定的な気持ちになることができた。

～ お知らせ ～

## 租税教室（出前授業）の開催について

当協議会では、租税の役割や申告納税制度の意義、納税者の権利・義務などを正しく理解していただくことを目的に、次代を担う児童・生徒を対象とした「租税教室」を積極的に開催しております。

また、社会人の手前となる高校生や大学生等に対する税の啓発活動の充実を図るため、講演会などへの講師派遣も積極的に実施しております。

時間・内容等について、ご相談させていただきますので、お気軽に事務局までお電話ください。



租税教室の授業風景

### 【お問い合わせ先】

和歌山市租税教育推進協議会（事務局）

〒640-8520 和歌山市二番丁3 和歌山地方合同庁舎

和歌山税務署 総務課内 ☎ 073 (424) 2132

和歌山県租税教育推進連絡協議会ホームページ

## 「わたしたちの暮らしと税金」の紹介

和歌山県租税教育推進連絡協議会ホームページ「わたしたちの暮らしと税金」では、児童・生徒の皆さんが、税について詳しく学べるコーナーの他、「税に関する作文」を作成する際に必要な資料等や先生方に授業で利用していただける税についての資料・教材等の提供を行っています。

また、「あなたのまちの租税教育推進協議会」では、和歌山市租税教育推進協議会の活動が紹介されています。

ホームページへのアクセスはこちらのアドレスまで！

アドレス <http://www.wakayama-sozeikyoiku.jp>

和歌山県租税教育

検索

